

キャラクター名
朱莉(あかり)

プレイヤー名

シンドローム	ブラム=ストーカー エンジェルハイロウ	ワークス	レネゲイドビーイングA	カヴァー	高校生
オプション	ノイマン	年齢	16	性別	女
覚醒	生誕	衝動	加虐	初期侵食率	37 %
出自	半身	経験	記憶喪失	邂逅	忘却

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	1	1	1			3	行動値	14
感覚	5	0	1			6	(非装備時)	14
精神	2	0	0			2	戦闘移動	19
社会	0	0	1			1	全力移動	38

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	6		RC			交渉		
回避	2		知覚			意志	1		調達	5	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ライフル	射撃	6r+5	-	9		同エンゲージ
スカーレット・ショット	射撃	8r+5	8	20		コンセ+急所狙い+滅びの一矢
ラスティ・S・ショット	射撃	10r+5	12	28		コンセ+急所狙い+滅びの一矢+ブラッドバーン

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
強化服	1	1			

所持品	
コネ: UGN幹部	
携帯電話	
制服	

合計装甲: 1 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	消費
夕芽灯	P 親近感	N 不安		
Dロイス: 達人	P 信頼	N		
灰谷理奈	P 有為	N 不信感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 12 残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト: ノイマン	2	2	×	-	-	-		
効果:	C-LV(7まで)							
光速の剣	1	1	×	武器	-	対決		
効果:	ガード不可、LV回							
血の宴	1	3	×	範囲	-	対決		
効果:	シンドローム: 範囲に変更、シナリオLV回							
急所狙い	3	4	×	-	-	対決		
効果:	射撃: 攻撃力+[LV*2]							
滅びの一矢	1	2	×	武器	-	対決		
効果:	射撃: ダイス+[LV+1] HP-2							
ブラッドバーン	2	4	×	-	-	対決	80↑	
効果:	攻撃+[LV*4] HP-5							
不死者の恩寵	1	5	ク	至近	自身	自動		
効果:	HPを[LVD+肉体]回復 シーン1回							
ヒューマンズネイバー	1	-	常					
効果:	衝動判定ダイス+LV 侵食率基本値+5							
オリジン: ヒューマン	1	2	マ					
効果:	シーン間 エフェクト達成値+LV							
真昼の星	★		メジャー		自身	自動		
効果:	望遠鏡のような視界を得る							
かぐわしき鮮血	★		メジャー		資金	自動		
効果:	特定の個人や集団を探しだす。知覚判定をするかどうかはGM次第							
効果:								
効果:								
効果:								

レネビ用のエフェクト分 +30されてます

【キャラ背景】
彼女は、夕芽灯から発生したレネゲイドビーイングである。

夕芽灯が施設に在籍していた頃、灯は友人も無く、想像の中にもう一人の『理想の自分』を作り出し話し相手としていた。それは彼女が自分以外の人間のイメージを、彼女の中に持っていなかったせいだった。ある日、灯がいつものように『自分』へ話しかけていると、いつもとは違う感覚があった。彼女自身、いつも話しかけている『自分』が存在していないことは気がついてた。だが、今は違う。確かに、彼女へ答えるものが存在している。何故かはわからないが、それは間違いなく確かだと感じる。しかし、その対応は実際不格好で、なんだかとてもかわいらしく思えた。その新しい『自分』は真っ赤なイメージを持っていたので『朱莉』と名づけた。

そうして、彼女は唯一無二の友人を手に入れたのだった。

FHによる施設襲撃事件の際、『たまたま』鍵が開いていた灯の個室から彼女は脱走を図る。その際、施設によって植え付けられた『施設に残らなければならない』という強迫観念にも似た強い思いが、彼女の中にしか居なかった朱莉を『夕芽灯』として、現実へ形作らせた。これが、今の朱莉である。

自分がRBであることを理解した朱莉は、自分をこの存在として認識し、この名前を名乗ることにした。

もし、この騒動がほかならぬ灯の仕業なら、彼女の最初の友人である、他ならぬ自分が彼女を止めなければならない。